

平成 25 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 島 根 秀 明
(コード 8737 大証第2部)
問合せ先 取締役財務部長 川 中 雅 浩
(TEL 03-6821-0606)

平成25年3月期第3四半期業績と前年同四半期業績との 差異に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)の業績が、前期の平成 24 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)の業績に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期業績と前年同四半期業績との差異

(単位：百万円、%)

	営業収益	純営業 収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
平成 24 年 3 月期第 3 四 半期連結累計期間 (A)	2,062	1,950	△483	191	△286	△49 円 01 銭
平成 25 年 3 月期第 3 四 半期連結累計期間 (B)	2,347	2,185	118	685	645	116 円 05 銭
増減額 (B-A)	285	234	601	494	932	165 円 06 銭
増減率 (%)	13.8	12.0	—	258.6	—	—

(注) 当社は、平成 25 年 1 月 10 日付で普通株式 10 株を 1 株の割合で株式併合を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異が生じた理由

当第 3 四半期連結累計期間(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで)における我が国経済は、復興需要の継続から緩やかな景気回復の動きが見られたものの、円高やデフレ状態の長期化や世界景気の停滞から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、株式市場におきましては、平成 24 年 12 月には金融緩和や景気対策への期待感から上昇傾向となったものの、それまでの円高及びデフレの長期化や世界経済の減速懸念などにより低調に推移したことに伴い、当社の主要な連結子会社であるあかつき証券㈱の当第 3 四半期連結累計期間の受入手数料は 1,127 百万円(前年同四半期比 29.0%減)となりましたが、外国債券の販売強化などによりトレーディング損益は 912 百万円(前年同四半期比 238.2%増)となりました。また本社移転による本社固定費の削減や業務・経営の効率化を進め、営業利益 206 百万円(前年同四半期は営業損失 399 百万円)、経常利益 208 百万円(前年同四半期は経常損失 379 百万円)、四半期純利益 195 百万円(前年同四半期は四半期純損失 664 百万円)となりました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の営業収益は 2,347 百万円(前年同四半期比 13.8%増)、営業利益は 118 百万円(前年同四半期は営業損失 483 百万円)となり、営業外収益に負ののれん償却額 563 百万円を計上したことにより、経常利益は 685 百万円(前年同四半期比 258.6%増)となりました。しかし特別損失に段階取得に係る差損 24 百万円、投資有価証券評価損 19 百万円を計上したため、四半期純利益は 645 百万円(前年同四半期は四半期純損失 286 百万円)となりました。

以 上